



看学生通信

第3号 2013年 11月
鳥取民医連看学生委員会発行



看護学生のみなさん、こんにちは。段々と寒くなってきましたね。寒さ対策は万全ですか？風邪やインフルエンザが心配な時期になってきましたので、しっかり栄養と睡眠をとって、健康に気をつけましょうね。また、紅葉の楽しめる季節になりました。晴れた日は外へ出かけ、秋を感じてみてくださいね。

トピックス 卒後2年目看護師看護研究発表会



8月30日（土）午後、卒後2年目看護師看護研究発表会が行われました。14名の卒後2年目看護師が、新卒で入職してからの1年半の学びを発表しました。

退院に向けた家族指導に苦勞し、先輩看護師のサポートを受けながら退院につなげることが出来た症例や、がん終末期患者の糖尿病コントロールについて、看護師として悩みながら患者の訴えに耳を傾け、家族の思いも尊重しながら関わった症例など、この1年半の成長を感じることが出来る発表会になりました。また、この看護研究発表の評価を卒後3年目看護師が行い、先輩看護師として後輩から学んだことやアドバイスなどを伝えました。当日は70名の看護職員のほか医療ソーシャルワーカーや理学療法士など他職種の参加もあり、いろいろな情報や意見が共有できる場にもなりました。



↑終了後の記念の一枚です。発表者の安堵の表情が伺えますね(^_^)

生協病院では受け持ち患者さんとの関わりを振り返ったり、まとめたりして自己の看護を高める、次の患者ケアに活かすことを行っています。

インフルエンザに気をつけましょう!!



国試に向けて 先輩Nsからのメッセージ



国試まで残り約3カ月になりました。焦る気持ちでいっぱいという方もいらっしゃるかもしれませんが、ということで、去年は受験生だった入職1年目の先輩Nsから激励の言葉とアドバイスをもらってきました。みなさんの国試へのモチベーションUPに繋がると嬉しいです。低学年の方も、卒年になってから慌てなくていいように、今から情報収集しておきましょう！

みなさん、勉強、実習お疲れさまです！

夏も終わり、国試まであつという間ですな。

この頃に私がしていた勉強といえば、模試の時に自信を持って解いた問題には◎、あやふやだけど多分これという問題には△、わからないものには×をつけていました。実習と課題をこなしつつ国試対策なんて正直不可能に近いですが、この時期にせめて「自分の不得意分野、知識の勘違い」が「明確」になっていれば、勉強期間の短縮になるし、実習でもその部分を意識的に学べます。あとは国試の出題傾向を把握することかな。参考書なんかは、傾向を考えて問題を作っているから参考になるし、最近は精神科・産婦人科・在宅領域重視なところがあると思います。実際、日本の医療はその領域に力を入れてるし、去年の国試もやたらとそこらへんが多かったです。暗記ものだけはひたすら暗記。語呂合わせがオススメ！準備さえきちんとしていけば、本格的な勉強は正月からでも間に合います！大変だけど、ゴールはもうすぐだ！いつか看護師になられたみなさんとお会い出来るのを楽しみに待っています。

(倉吉総合看護専門学校卒 HCU 高野Ns)

実習に国試の勉強に毎日おつかれさまです。

私は国試の勉強がしたくても実習があつたり、学校の実技テストとか色々あって、なかなか国試の勉強に取り組めなくて、悩んだ記憶があります。私が本格的に国試の勉強に取り組んだのは、実習が終わってからだったので、11月くらいからだったと思います。勉強法と言えるほどのものではありませんが、10年分の過去問をひたすら何度も何度も解く中で、頭に叩き込みました。実習が終わってからの4ヶ月間は寝る時間も惜しんで勉強しました。低学年のみなさんはまだ先のこと過ぎてなかなかイメージがわからないと思いますが、あつという間です。目標を決めて計画的に取り組んでいったら、私みたいにギリギリになって焦らなくてもいいと思うので、早い間から取り組むように頑張ってください。

(旭川荘厚生専門学院卒 8階 竹村Ns)

意見・要望、質問等がある方は、気軽に右記までご連絡下さい。お待ちしております。

〒680-0833 鳥取市末広温泉町566
鳥取医療生協 看学生担当 米井
電話 (0857)-24-6161